

=====

瀬戸内海国立公園指定70周年
第27回原子力発電問題全国シンポジウム in 山口
日本科学者会議

=====

「同一の風景型式中、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景であること」を指定の要件とする国立公園。

瀬戸内海国立公園は1934年3月16日にわが国初の国立公園として雲仙、霧島とともに指定され、今年70周年を迎えました。しかし、この地に国民のいのちとくらしに密接に関係する原子力発電所を建設する計画が中国電力(株)によってすすめられています。また最近、旧通産省と原子力委員会、電力業界がそれぞれ使用済燃料の再処理と直接処分のコスト比較を行い、使用済燃料を地中に埋める直接処分は再処理より大幅に割安になるとする試算結果が10年間も隠されていたことが明るみに出てきました。

本シンポジウムでは、原子力発電所建設予定地の山口県上関町に近い柳井市で科学者と市民が一堂に会し、原子力発電に関連する諸課題について検討し、互いに理解を深め、研究活動と運動のさらなる発展をめざします。ひとりでも多くのみなさんが本シンポジウムに参加することを期待しています。

■日 程 2004年8月28日(土) 14時～17時

29日(日) 9時半～16時半

懇親会： 28日(土) 17時半～19時半(参加費3000円)

■会 場 「アクティブやない」 柳井市尾の上 3718-16 Tel:0820-24-0081

■参加費 1日のみの参加500円、2日間1000円。報告要旨集の必要な方は別途500円が必要です。

■主 催 日本科学者会議原子力問題研究委員会、第27回原子力発電問題全国シンポジウム実行委員会(日本科学者会議山口支部、原発をつくらせない山口県民の会、他)

■連絡先 〒113-0034 文京区湯島 1-9-15 茶州ビル9階
日本科学者会議原子力問題研究委員会
Tel:03-3812-1472 Fax:03-3813-2363
<http://www.jsa.gr.jp>

〒754-1214 阿知須町西条 3310 松尾博美方 気付
日本科学者会議山口支部
Tel&Fax:0836-65-2867

E-Mail:matsuoh@amber.plala.or.jp

■宿 泊 宿泊は各自で手配してください。

会場付近のホテル	室料・税サ込(S)・	朝 食	Tel
柳井クルーズホテル	7,796円	1,000円	0820-23-6000
柳井ビジネスホテル	4,515～6,930円	700円	0820-22-8171

■プログラム

メインテーマ 瀬戸内海と原発

8月28日（土）午後 シンポジウム

- * 原発の重大事故と緊急時対策 青柳長紀（日本科学者会議元原研分会）
- * 瀬戸内海と地震 立石雅昭（新潟大学理学部）
- * 改良沸騰水型軽水炉（ABWR） 日本科学者会議原子力研究所分会（予定）
- * 中国電力の電力需要と供給の実態 飯田克平（日本科学者会議石川支部）
ー上関原発の役割は？ー
- * 各地の報告（巻、珠洲など）

8月29日（日）午前 シンポジウム

- * 原子力発電をめぐる最近の諸問題（原子力長計、コスト、バックエンド問題など） 館野淳（中央大学商学部）
- * 中国電力（株）上関原発計画の現状 日本科学者会議山口支部
- * 瀬戸内の環境と生態 日本科学者会議瀬戸内委員会（予定）

8月29日（日）午後 記念講演

- * 日本の原子力開発の50年 中嶋篤之助（元中央大学商学部）
- * 中国電力島根原発の現地では 清水修二（福島大学経済学部）

第27回原子力発電問題全国シンポジウム 参加申込書

氏 名	勤務先等
該当するものに○印を「付けて	
・ 8月28日（土）	500円
・ 8月29日（日）	500円
・ 報告要旨集	500円
・ 懇親会	3,000円
計 円	
連絡先 〒	